

「第2期大分県スポーツ推進計画（素案）」に対する県民意見の募集について

令和3年2月15日
大分県教育庁体育保健課

令和2年12月15日から令和3年1月15日までの間、県民の皆様から募集した「第2期大分県スポーツ推進計画（素案）」についての意見の概要、ご意見に対する県の考え方及び計画への反映状況を取りまとめましたので公表します。

なお、1人の県民の方から1件の貴重な意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

番号	提出者数	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況
1	1	<p>これまで競技の普及や競技力向上の中心を中学校と高校の部活動が担ってきた。専門性を持った教員が多く、勤務時間に関係なく部活動に取り組んだ教員のプラス思考が背景にあったが、現在は教職員のスポーツに関わる専門性が低下し、働き方改革でボランティア的に部活動に関わろうとする意識を持つ教員は間違いなく減少している。</p> <p>一方で、生徒のスポーツに対するニーズは多様化しており、それに応えられない環境や女子の部活動への参加減少をはじめ、中学校や高校で部活動が衰退する方向に流れており、こうした状況をもっと深刻にとらえなければならない。</p> <p>学校部活動に代わる手段として総合型地域スポーツクラブを挙げているが、指導者や運営資金を確保することに苦勞をしている状況であり、部活動を行う時間帯にニーズに応えられるものを創造するシステムを県レベル（本当は国レベルだと思うが）で作らなければ難しいと思う。</p> <p>学校依存からの脱却を計画の中に組み入れて、本当にスポーツが地域で発展する方策を作ってもらいたい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、第2編第1章、基本目標Ⅰの1、（1）幼児期・少年期におけるスポーツの推進の主な取組③の中で、「地域や関係団体と連携した生徒の多様なニーズに対応するための地域移行型部活動の推進」として記載しており、今後、国の施策動向にも注視しながら、市町村や関係団体と連携し地域の実態に応じた取組に展開することとしております。</p> <p>また、部活動の地域移行の担い手のひとつとして想定される総合型地域スポーツクラブについても、第2編第1章、基本目標Ⅰの3、（1）総合型地域スポーツクラブの推進として記載しており、施策内の取組により、クラブの質的な充実を図っていくこととしています。</p>